

# 細川元首相夫人が名誉会長を務める 知的障害者のスポーツ団体を支援

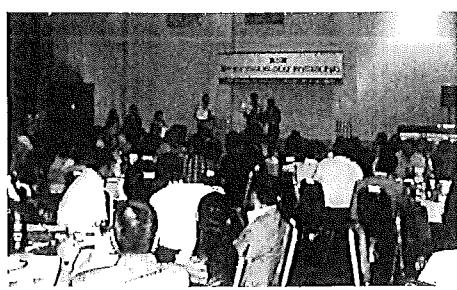
認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」に淨財266万円



細川護熙元首相夫人で現在認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」の名誉会長を務める細川佳代子氏（左）に淨財を手渡し、握手する同社の萩原明会長（右）



オークションには、国際的なJAZZトランペッターハーヴィー・日野皓正氏（左）のトランペットが出品されたうえ、生演奏も。隣は司会進行役を務めた小野やすし氏



会場には、業界関係者をはじめ、芸能スポーツ関係者ら総勢150人が集まり、盛り上がりを見せていました

遊技機販売商社のセイブシステムリンク（東京都中央区、萩原明会長）は9月10日、横浜市内の横浜カントリークラブで「第5回セイブシステムゴルフ大会・スペシャルオリンピックスチャリティ」を開催した。

当日のチャリティーアイベントでは、オークションなどで集まつた淨財に、同社の寄付金を加えた266万6000円が、知的障害者のスポーツ活動を支援する認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」の名誉会長を務める細川護熙元首相夫人の細川佳代子氏に、同社の萩原会長から直接手渡された。この寄付金贈呈は第1回大会から毎年行われ5年連続。累計1200万円以上が贈呈されている。

寄付金を受け取った細川名譽会長は、長野で行われた05年の世界大会に、イラン代表の渡航費が足りず不参加となる危機に直面した時、萩原会長に相談したら二つ返事で支援を申し出てくれたというエピソードを披露し、「熱い思いで支援してもらっている」と感謝の言葉を述べた。このイベントには、同社の知的障害者を支援する主旨に賛同する業界関係者をはじめ、芸能・スポーツ・文化人が毎年多数参加。今年も俳優の勝呂薫氏、元ボクシング世界チャンピオンの竹原慎二氏、JAZZトランペッタ奏者の日野皓正氏など、芸能・スポーツ・文化関係者27名を含む総勢115名が集まつた。会は4時間半もの間続いたが、一人として中座することなく、司会進行役を務めた小野やすし氏の軽快なトークによつて終始盛り上がりを見せていた。

また当日、来賓を代表してあいさつした金馬車社長で同友会代表理事の高濱正敏氏は、「業界は厳しく、自分の会社を守るだけ精一杯のなか、このような催しを続けていることに感激している」と熱っぽく語った。

最後に萩原会長は、「ここまで続けられたのも皆さんの支援のおかげ。このような会は、続けることに意義があると感じている」と述べ、今後もこのイベントを継続していく決意を示した。

